

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 4月 日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 4月 10日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法		受講人数	38 人
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
謝礼	あり・なし	責任教員	茨木
担当教員	茨木、Denes、中西文、Lafdal、村上	役割分担	
目的	ビジネスプランをつくる時の考え方		
講演・講義の概要	担当教諭の紹介 What is Effectuation? ビジネスプランの提案～班決め～チームディスカッション		
備考・その他			
実施報告			
内容	担当教諭の紹介 本日の取組み What is Effectuation? ビジネスプランの提案 チーム決め チームディスカッション		
受講者の反応	はじめは緊張していたが、ビジネスプランの提案がいくつか出てくると、場がほぐれリラックスしてきた。		
事後指導	チームメンバー表、ビジネスプランの方向性をまとめたものを提出		
反省・課題	教室の使用について確認した。		
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:45)</p> <p>担当教諭の紹介 (1年生の最後でフィリピンビジネスプランの初めのさわりをやった。(PEST分析など)ただし、約半数近くの生徒が諸事情で欠席していた模様)</p> <p>本日の取組み What is Effectuation? The Five Principles of Effectuation Bird-in-Hand Principle,Affordable Loss Principle,Crazy Quilt Principle,Crazy Quilt Principle, Pilot-in-the-Plane Principle 11:25~11:35 まずは個人で、「今、フィリピンでこれいけるよね」「これ流行るよね、、、」などビジネスの片鱗をつかむ。</p> <p>11:35~11:45 提案 ①水害対策(カッパ、長靴/イベント)②バナナのプランテーション農場の土地利用③寿司④ご飯のおとも ⑤バナナで健康増進⑥陸上浮き輪⑦キッチンカー⑧サングラス⑨朝食セット⑩ココナッツオイルを車に利用 ⑪間食専門店</p> <p>4時間目(11:55~12:45) チーム決め ①~⑩のなかで自分の行きたいところに挙手(1チーム3~4名)5名以上はジャンケン</p>		
	報告者	中西文恵	

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 4月 17 日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 4月 17日 10時 35分 ~ 12時 05分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
受講人数	37 人		
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
謝礼	あり・なし		
責任教員	茨木	担当教員	茨木、Denes、中西文、Lafdal、村上
役割分担			
目的	ビジネスプランをつくる時の考え方		
講演・講義の概要	タイムマネジメントの重要性 ビジネスプランのコンセプト決定		
備考・その他			
実施報告			
内容	タイムマネジメントの重要性 ビジネスプランのコンセプト決定		
受講者の反応	既存のビジネスが多く、新しい発想や付加価値を付けることに苦勞していた。		
事後指導	チームメンバー表、ビジネスプランの方向性をまとめたものを提出		
反省・課題			
記録欄	3時間目(10:35~11:15) タイムマネジメントの重要性 各班、ビジネスプランのコンセプトを決定する  4時間目(11:25~12:05) 各班でディスカッション		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 4月 19 日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 4月 19日 10時 45分 ~ 12時 30分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
受講人数	37 人		
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
謝礼	あり・なし		
責任教員	茨木	担当教員	茨木、Denes、中西文、村上
役割分担			
目的	ビジネスプランをつくる時の考え方		
講演・講義の概要	ビジネスプランのコンセプト決定		
備考・その他			
実施報告			
内容	ビジネスプランのコンセプト決定		
受講者の反応	既存のビジネスが多く、新しい発想や付加価値を付けることに苦労していた。		
事後指導	チームメンバー表、ビジネスプランの方向性をまとめたものを提出		
反省・課題			
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:45) タイムマネジメントの重要性 各班、ビジネスプランのコンセプトを決定する</p> <p>4時間目(11:55~12:30) 各班でディスカッション</p> <p>本日、京紫会の会議等が大会議室で13時より行われるため、4時間目を15分早く終了した。</p>		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 4月 24日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 4月 24日 10時 55分 ~ 12時 30分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
受講人数	34 人		
実施場所	大会議室	使用備品	プロジェクター
謝礼	あり・なし		
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、村上、デネス、ラフダル
役割分担			
目的	フィリピンビジネスプランをつくる		
講演・講義の概要	ビジネスプランのコンセプト決定		
備考・その他			
実施報告			
内容	ビジネスプランのコンセプト決定 チーム内でディスカッションをした。		
受講者の反応			
事後指導	ビジネスプランの方向性をまとめたものを提出		
反省・課題			
記録欄	3時間目(10:55~11:50) 各班でディスカッション  4時間目(12:00~12:30) 各班でディスカッション 現在のコンセプトでPEST分析を始める。		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 4月 26日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 4月 26日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
受講人数	38 人		
実施場所	図書室	使用備品	
謝礼	あり・なし		
責任教員	茨木	担当教員	茨木、村上、デネス、ラフダル
役割分担			
目的	フィリピンビジネスプランをつくる		
講演・講義の概要	ビジネスプランのコンセプトをもとにPEST分析を行う		
備考・その他			
実施報告			
内容	ビジネスプランのコンセプトをもとにPEST分析を行う。		
受講者の反応			
事後指導	ビジネスプランの方向性をまとめたものを提出		
反省・課題	図書室を借りて授業をしたが、書籍を利用して情報収集する生徒もあり、環境的には非常によかった。		
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:50) 4時間目(12:00~12:30) 現在のコンセプトでPEST分析を行った。</p> <p>PEST分析とは、自社を取り巻く外部環境が、現在もしくは将来的にどのような影響を与えるかを把握・予測するためのフレームワーク。「政治(Politics)」「経済(Economy)」「社会(Society)」「技術(Technology)」の4つを分析対象とする。</p>		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 5月 1日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 5月 1日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
受講人数			36 人
実施場所	大会議室	使用備品	プロジェクター
謝礼	あり・なし		
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、村上、デネス
役割分担			
目的	フィリピンビジネスプランをつくる		
講演・講義の概要	PEST分析後、ビジネスモデルキャンパスの作成		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>ビジネスプランのコンセプト決定後、PEST分析を行った。 そのPEST分析をもとに、ビジネスモデルキャンパスの作成を行う。</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:50) 4時間目(12:00~12:30) PEST分析をもとにビジネスモデルキャンパスの作成する</p> <p>ビジネスモデルキャンパスとは、ビジネスモデルを可視化するためのフレームワークであり、新規事業のビジネスモデルを考えるにあたり、必要な要素と、その関係性や全体像を把握することに適している。</p> <p>今後に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・What questions need to be answered ?</li> <li>・What tasks need to be done ?</li> <li>・Who will do Which task ?</li> </ul>		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。  
\* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 5月 8日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
受講人数	21 人		
実施場所	中教室	使用備品	
謝礼	あり・なし		
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、ラフダル
役割分担			
目的	フィリピンビジネスプランをつくる		
講演・講義の概要	ビジネスモデルキャンパスの完成を目指す。		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>ビジネスプランのコンセプト決定後、PEST分析を行った。 そのPEST分析をもとに、ビジネスモデルキャンパスの作成の完成を目指す。</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:50) 4時間目(12:00~12:30) PEST分析をもとにビジネスモデルキャンパスの完成を目指す。</p> <p>ビジネスモデルキャンパスとは、ビジネスモデルを可視化するためのフレームワークであり、新規事業のビジネスモデルを考えるにあたり、必要な要素と、その関係性や全体像を把握することに適している。</p> <p>今後に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・What questions need to be answered ?</li> <li>・What tasks need to be done ?</li> <li>・Who will do Which task ?</li> </ul> <p>* ベトナムフィールドトリップ(5/7~5/13)のため、生徒11人が公欠 * カナダビザ申請のため生徒5名 公欠</p>		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 5月 10日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン			
講演者・指導者氏名(所属)	( )			
実施日時	令和 7年 5月 10日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース	受講人数 25 人
実施場所	中教室	使用備品		謝礼 あり・なし
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文	
役割分担				
目的	フィリピンビジネスプランをつくる			
講演・講義の概要	ビジネスモデルキャンパスの完成を目指す。			
備考・その他				
実施報告				
内容	<p>ビジネスプランのコンセプト決定後、PEST分析を行った。 そのPEST分析をもとに、ビジネスモデルキャンパスの作成の完成を目指す。</p>			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:50) 4時間目(12:00~12:30) PEST分析をもとにビジネスモデルキャンパスの完成を目指す。</p> <p>ビジネスモデルキャンパスとは、ビジネスモデルを可視化するためのフレームワークであり、新規事業のビジネスモデルを考えるにあたり、必要な要素と、その関係性や全体像を把握することに適している。</p> <p>今後に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・What questions need to be answered ?</li> <li>・What tasks need to be done ?</li> <li>・Who will do Which task ?</li> </ul> <p>* ベトナムフィールドトリップ(5/7~5/13)のため、生徒11人が公欠</p>			
	報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容 フィリピンビジネスプラン				
講演者・指導者氏名(所属) ( )				
実施日時	令和 7年 5月 15日 11時 05分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース	受講人数 30 人
実施場所	中教室	使用備品		謝礼 あり・なし
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、Denes、Lafdal、村上	
役割分担				
目的	フィリピンビジネスプランをつくる			
講演・講義の概要	ビジネスモデルキャンパスの完成を目指す。			
備考・その他				
実施報告				
内容	<p>ビジネスプランのコンセプト決定後、PEST分析を行った。 そのPEST分析をもとに、ビジネスモデルキャンパスの作成の完成を目指す。</p>			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄	<p>3時間目(11:05~11:50) 4時間目(12:00~12:45) PEST分析をもとにビジネスモデルキャンパスの完成を目指す。</p> <p>ビジネスモデルキャンパスとは、ビジネスモデルを可視化するためのフレームワークであり、新規事業のビジネスモデルを考えるにあたり、必要な要素と、その関係性や全体像を把握することに適している。</p> <p>大きく方向転換を考えている班は来週をめぐりに考える。</p> <p>Before We finish Today</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・What do we need to do / know in order to complete our business model canvas ?</li> <li>・Is these any problem / question blocking our progress ?</li> <li>・How can we go around / past it</li> <li>・What should each member do until next class ?</li> </ul>			
	報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。  
\* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 5月 17日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 5月 17日 11時 05分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
受講人数	37 人		
実施場所	図書室	使用備品	図書室の本
謝礼	あり・なし		
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、Denes、村上
役割分担			
目的	フィリピンビジネスプランをつくる		
講演・講義の概要	ビジネスモデルキャンパスの完成を目指す。		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>ビジネスプランのコンセプト決定後、PEST分析を行った。 そのPEST分析をもとに、ビジネスモデルキャンパスの作成の完成を目指す。</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>3時間目(11:05~11:50) 4時間目(12:00~12:45) PEST分析をもとにビジネスモデルキャンパスの完成を目指す。</p> <p>ビジネスモデルキャンパスとは、ビジネスモデルを可視化するためのフレームワークであり、新規事業のビジネスモデルを考えるにあたり、必要な要素と、その関係性や全体像を把握することに適している。</p> <p>大きく方向転換を考えている班は5/22を(木)をめどに考える。</p>		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 5月 17日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 5月 22日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
受講人数	35 人		
実施場所	中教室	使用備品	
謝礼	あり・なし		
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、Denes、村上
役割分担			
目的	フィリピンビジネスプランをつくる		
講演・講義の概要	ビジネスモデルキャンパスを完成させる。		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>ビジネスモデルキャンパスを完成させる。 できたところから、発表の準備に取りかかる。 発表の準備をするにあたって、今回伸ばすべき4つのコンピテンシーを意識させる。</p>		
受講者の反応			
事後指導	ビジネスモデルキャンパスの提出		
反省・課題			
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:45) 4時間目(11:55~12:45) PEST分析をもとにビジネスモデルキャンパスを完成させる。</p> <p>ビジネスモデルキャンパスとは、ビジネスモデルを可視化するためのフレームワークであり、新規事業のビジネスモデルを考えるにあたり、必要な要素と、その関係性や全体像を把握することに適している。</p> <p>この後、実際にこの授業を通して伸ばすべきコンピテンシーについて意識させながら、発表の準備に取りかからせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 伸ばすべきコンピテンシー(4つ)</li> <li>・コラボレーションとリーダーシップ</li> <li>・俊敏性と適応力</li> <li>・起業家精神</li> <li>・Society5.0に対応する高次元のデジタルリテラシー</li> </ul> <p>これらのコンピテンシーが伸びたかどうかの検証は発表終了後にAi GROWを用いて測定する予定。</p> <p>発表は7/10(木)</p>		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 5月 31日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 5月 31日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
受講人数	35 人		
実施場所	本館405,406	使用備品	
謝礼	あり・なし		
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、Denes、村上
役割分担			
目的	フィリピンビジネスプランの作成		
講演・講義の概要	ビジネスモデルキャンパスをもとに、プレゼンテーションの作成に入る。		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>ビジネスモデルキャンパスの手直し。 できたところから、発表の準備に取りかかる。 発表の準備をするにあたって、今回伸ばすべき4つのコンピテンシーを意識させる。</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:45) 4時間目(11:55~12:45) PEST分析をもとにビジネスモデルキャンパスの手直し。</p> <p>ビジネスモデルキャンパスとは、ビジネスモデルを可視化するためのフレームワークであり、新規事業のビジネスモデルを考えるにあたり、必要な要素と、その関係性や全体像を把握することに適している。</p> <p>この後、実際にこの授業を通して伸ばすべきコンピテンシーについて意識させながら、発表の準備に取りかかる。 * 伸ばすべきコンピテンシー(4つ) ・コラボレーションとリーダーシップ ・俊敏性と適応力 ・起業家精神 ・Society5.0に対応する高次元のデジタルリテラシー これらのコンピテンシーが伸びたかどうかの検証は発表終了後にAi GROWを用いて測定する予定。</p> <p>ビジネスモデルキャンパスの最終提出は6/26(木) 発表は7/10(木) 残り時間 14時間</p>		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 6月 5日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 6月 5日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法		受講対象	高校2年国際コース
授業名	KOA II	受講人数	35 人
実施場所	中教室	使用備品	謝礼 あり・なし
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、Denes、村上、Lafdal
役割分担			
目的	フィリピンビジネスプランの作成		
講演・講義の概要	ビジネスモデルキャンパスをもとに、プレゼンテーションの作成に入る。		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>ビジネスモデルキャンパスの手直し。 できたところから、発表の準備に取りかかる。 発表の準備をするにあたって、今回伸ばすべき4つのコンピテンシーを意識させる。</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:45) 4時間目(11:55~12:45) PEST分析をもとにビジネスモデルキャンパスの手直し。</p> <p>ビジネスモデルキャンパスとは、ビジネスモデルを可視化するためのフレームワークであり、新規事業のビジネスモデルを考えるにあたり、必要な要素と、その関係性や全体像を把握することに適している。</p> <p>この後、実際にこの授業を通して伸ばすべきコンピテンシーについて意識させながら、発表の準備に取りかかる。 * 伸ばすべきコンピテンシー(4つ) ・コラボレーションとリーダーシップ ・俊敏性と適応力 ・起業家精神 ・Society5.0に対応する高次元のデジタルリテラシー これらのコンピテンシーが伸びたかどうかの検証は発表終了後にAi GROWを用いて測定する予定。</p> <p>ビジネスモデルキャンパスの最終提出は6/26(木) <u>この日以降の変更はなし</u>。 発表は7/10(木) 本時間含め残り時間 12時間</p>		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 6月 7日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	福原 正大 (Institution for a Global society株式会社のCEO、慶應義塾大学訪問教授)		
実施日時	令和 7年 6月 7日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
実施場所	図書室	使用備品	プロジェクター, スクリーン
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、Denes、村上
役割分担			
目的	福原先生の講演からグローバル社会で求められる資質・能力について学ぶ		
講演・講義の概要	福原先生の講演からグローバル社会で求められる資質・能力について学ぶ		
備考・その他			
実施報告			
内容	フィリピンビジネスプランの作成 福原先生の講演からグローバル社会で求められる資質・能力について学ぶ		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:30) ビジネスモデルキャンバスをもとにプレゼンテーションの作成。 * 伸ばすべきコンピテンシー(4つ) ・コラボレーションとリーダーシップ ・俊敏性と適応力 ・起業家精神 ・Society5.0に対応する高次元のデジタルリテラシー これらのコンピテンシーが伸びたかどうかの検証は発表終了後にAi GROWを用いて測定する予定。 ビジネスモデルキャンバスの最終提出は6/26(木) 発表は7/10(木)</p> <p>4時間目(11:30~12:45) 福原先生のご講演 「急速に変化するグローバル社会で求められる資質・能力」 ・つけるべき習慣「考える」とは、情報に満足せず、情報の奥にあることを見極めようとする行動 ・高校時代に行うべきこと「挑戦・失敗・経験」 ・グローバルリーダーシップはMy storyを構築すること ・Who are you ? ・人間拡張学</p>		
	報告者	中西文恵	

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 6月 12日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容 フィリピンビジネスプラン					
講演者・指導者氏名(所属) ( )					
実施日時	令和 7年 6月 12日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース	受講人数	35 人
実施場所	中教室	使用備品		謝礼	あり・なし
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、Denes、村上、Lafdal		
役割分担					
目的	フィリピンビジネスプランの作成				
講演・講義の概要	ビジネスモデルキャンバスをもとに、プレゼンテーションの作成に入る。				
備考・その他					
実施報告					
内容	<p>ビジネスモデルキャンパスの手直し。            プレゼンテーションの作成等、発表の準備。            発表の準備をするにあたって、今回伸ばすべき4つのコンピテンシーを意識させる。</p>				
受講者の反応					
事後指導					
反省・課題					
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:45) 4時間目(11:55~12:45)            ビジネスモデルキャンバスをもとにプレゼンテーションの作成等をする。            この後、実際にこの授業を通して伸ばすべきコンピテンシーについて意識させながら、発表の準備に取りかかる。            * 伸ばすべきコンピテンシー(4つ)            ・コラボレーションとリーダーシップ            ・俊敏性と適応力            ・起業家精神            ・Society5.0に対応する高次元のデジタルリテラシー            これらのコンピテンシーが伸びたかどうかの検証は発表終了後にAi GROWを用いて測定する予定。</p> <p>ビジネスモデルキャンバスの最終提出は6/26(木) <u>この日以降の変更はなし。</u>            発表は7/10(木)            本時間含め残り時間 6時間</p>				
報告者	中西文恵				

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和 7年 6月 19日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 6月 19日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
受講人数	35 人	謝礼	あり・なし
実施場所	中教室	使用備品	
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、Denes、村上
役割分担			
目的	フィリピンビジネスプランの作成		
講演・講義の概要	ビジネスモデルキャンバスをもとに、プレゼンテーションの作成をする。		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>ビジネスモデルキャンパスの手直し。            プレゼンテーションの作成等、発表の準備。            発表の準備をするにあたって、今回伸ばすべき4つのコンピテンシーを意識させる。</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:45) 4時間目(11:55~12:45)            ビジネスモデルキャンバスをもとにプレゼンテーションの作成等をする。            この後、実際にこの授業を通して伸ばすべきコンピテンシーについて意識させながら、発表の準備に取りかかる。            * 伸ばすべきコンピテンシー(4つ)            ・コラボレーションとリーダーシップ            ・俊敏性と適応力            ・起業家精神            ・Society5.0に対応する高次元のデジタルリテラシー            これらのコンピテンシーが伸びたかどうかの検証は発表終了後にAi GROWを用いて測定する予定。</p> <p>ビジネスモデルキャンバスの最終提出は6/26(木) <u>この日以降の変更はなし。</u>            発表は7/10(木)            本時間含め残り時間 4時間</p>		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 6月 26日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法		受講人数	36 人
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
実施場所	中教室	使用備品	謝礼 あり・なし
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、Denes、村上、Lafdal
役割分担			
目的	フィリピンビジネスプランの作成		
講演・講義の概要	ビジネスモデルキャンバスをもとに、プレゼンテーションの作成をする。		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>ビジネスモデルキャンバス最終提出            プレゼンテーションの作成等、発表の準備。            発表の準備をするにあたって、今回伸ばすべき4つのコンピテンシーを意識させる。</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:45) 4時間目(11:55~12:45)            ビジネスモデルキャンバスをもとにプレゼンテーションの作成等をする。            この後、実際にこの授業を通して伸ばすべきコンピテンシーについて意識させながら、発表の準備に取りかかる。            * 伸ばすべきコンピテンシー(4つ)            ・コラボレーションとリーダーシップ ・俊敏性と適応力 ・起業家精神            ・Society5.0に対応する高次元のデジタルリテラシー            これらのコンピテンシーが伸びたかどうかの検証は発表終了後にAi GROWを用いて測定する予定。</p> <p>ビジネスモデルキャンバスの最終提出は6/26(木) <u>この日以降の変更はなし。</u>            発表は7/10(木)</p> <p>【ビジネスモデルの発表で評価される主なポイント】            ●Does the proposed business model seem feasible and likely to generate profit in the context of the Philippines?            ●Is the model original and creative?            ●Does it reflect a forward-looking perspective?            ●Has the team conducted thorough research on the social and economic context of the Philippines?</p>		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 7月 5日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法		受講人数	35 人
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
実施場所	図書室	使用備品	謝礼 あり・なし
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、Denes、村上
役割分担			
目的	フィリピンビジネスプランの作成		
講演・講義の概要	ビジネスモデルキャンパスをもとに、プレゼンテーションの作成をする。		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>ビジネスモデルキャンパス最終提出 プレゼンテーションの作成等、発表の準備。 発表の準備をするにあたって、今回伸ばすべき4つのコンピテンシーを意識させる。</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>3時間目(10:55~11:45) 4時間目(11:55~12:45) ビジネスモデルキャンパスをもとにプレゼンテーションの作成等をする。 この後、実際にこの授業を通して伸ばすべきコンピテンシーについて意識させながら、発表の準備に取りかかる。 * 伸ばすべきコンピテンシー(4つ) ・コラボレーションとリーダーシップ ・俊敏性と適応力 ・起業家精神 ・Society5.0に対応する高次元のデジタルリテラシー これらのコンピテンシーが伸びたかどうかの検証は発表終了後にAi GROWを用いて測定する予定。  ビジネスモデルキャンパスの最終提出は6/26(木) <u>この日以降の変更はなし。</u> 発表は7/10(木)</p> <p>【ビジネスモデルの発表で評価される主なポイント】 ●Does the proposed business model seem feasible and likely to generate profit in the context of the Philippines? ●Is the model original and creative? ●Does it reflect a forward-looking perspective? ●Has the team conducted thorough research on the social and economic context of the Philippines?</p>		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	( )		
実施日時	令和 7年 7月 10日 9時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	高校2年国際コース
受講人数	36 人		
実施場所	図書室	使用備品	海外とのzoomに必要なカメラ等一式
謝礼	あり・なし		
責任教員	茨木	担当教員	茨木、中西文、Denes、村上、Lafdal
役割分担			
目的	フィリピンビジネスプランの発表		
講演・講義の概要	フィリピンビジネスプランの発表		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>発表にあたって、ビジネスモデルの発表で評価される主なポイントを十分理解したうえで発表を行う。</p> <p>また、セントペドロポベダカレッジの先生方に評価していただくため、すべての発表を英語で行った。</p> <p>発表を聞いている生徒は、評価表及び各チームに向けたコメントを記述した。</p> <p>発表時間 7分 質疑応答 3分</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>2時間目 3時間目 4時間目 (9:55~12:10)</p> <p>発表時間 7分 質疑応答 3分 計10分</p> <p>発表チーム</p> <p>1 Healthy Tacos Food Truck                      2 Banana Theme Park</p> <p>3 TokoNuts    4 Teru Teru Wear</p> <p>5 Sushi Roll Group                                      6 Onigiri</p> <p>7 Boxing Pub    8 “ Pan no Otomo ” ~ A Friend with your bread</p> <p>9 Coconut Teeth Brush                                      10 Sunglasses</p> <p>【ビジネスモデルの発表で評価される主なポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●Does the proposed business model seem feasible and likely to generate profit in the context of the Philippines?</li> <li>●Is the model original and creative?</li> <li>●Does it reflect a forward-looking perspective?</li> <li>●Has the team conducted thorough research on the social and economic context of the Philippines?</li> <li>●Are sources of data clearly cited, and do they reflect credible and reliable information?</li> <li>●Is the logic behind the model sound and well-developed?</li> <li>●Is the presentation material (slides, visuals, etc.) appropriately designed?</li> <li>●Is the delivery in English clear and effective?</li> <li>●Are the presenters speaking in their own words, rather than simply reading from a script?</li> </ul>		
報告者	中西文恵		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	Talaban		
講演者・指導者氏名(所属)	Jelo CJ ( St.Pedro Poveda )		
実施日時	令和 7年 6月 14日 8時55分 ~ 12時45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA2	受講対象	国際コース2年生
受講人数	人		
実施場所	2年1組教室	使用備品	謝礼あり・なし
責任教員	茨木	担当教員	中西、デニス、村上
役割分担			
目的	SDGの目標でもある貧困問題に実際に触れ、何ができるのかを考えさせる。		
講演・講義の概要	St.Pedro Povedaが実施しているTalabanという活動を学ぶ		
備考・その他			
実施報告			
内容	PagPagというフィリピンの貧困層が廃棄物を食べている現実を例に、手を差し伸べることについて気付かせる。		
受講者の反応	PagPagにはショックを受けていた。		
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>紹介</p> <p>menti.com に入りリアクションができるようにする</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. St.Pedro Poveda schoolの紹介(CJ)</li> <li>2. Poveda spiritual center の活動</li> <li>3. Social action について 誰かのために変革を起こすこと</li> <li>4. St.Pedro Povedaの生涯について</li> <li>5. 洞窟に住む人々に対してあなたならどのように対応するかを考える。</li> <li>6. 貧困とは何かを考える。</li> <li>7. フィリピンにおける貧困の現状について学ぶ</li> <li>8. Pagpagのビデオを見てブレイクアウトルームにて貧困についてグループで考える。 4つのグループがそれぞれ違う課題を与えられる。スライドに記入し発表する。</li> <li>9. それぞれプレゼンをする。G1:ごみを食べている状況がひどいと感じた。G2:職がないのでこのような状況になっている。G3:フードバンクによって解決する。ビデオを多くの人にみてもらう。まず職を得られることが大事。G4:フィリピンの貧困層は食事をサバイバルととらえているとわかった。</li> <li>10. この学びを感情で終わらせてはいけない。解決法を考えて実行することが大事。</li> <li>11. 1まず見る。2理解する。3行動する。4評価するという手順をPovedan Pastral Spiralという。タラバンは実際にコミュニティに出かけて実践する活動。</li> </ol>		
報告者	村上		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を